# 令和3年 第4回 鷹栖町議会定例会

# 一 般 質 問

質問方式:一問一答方式 制限時間:45分間 尚、一部表現・言葉使い等に校正箇所あり

# 質問要旨:保育園の受入れ体制と将来計画について

# 小学校教育の将来計画について

#### 青野敏

少子化・核家族化の進行や夫婦共働き世帯の増加、及び女性の社会進出など、社会状況の 変化により保育ニーズが多様化しています。

また、家庭内での子育ての孤立化や育児に対する負担感・不安感が増加していることから も、地域における子育て環境の充実が今まで以上に求められております。

本町においても、将来の児童数の動向や保育環境のあり方を考える中で、保育内容の質的 充実に向けた受け入れ態勢や施設の統廃合を含めた、効率的かつ効果的な保育環境の充実が 必要であります。

その中において、町長に2点質問いたします。

### 1点目として、保育園児の受入体制についてお伺いします。

令和元年第4回定例会において、私は子育て支援における保育園の課題について質問をいたしました。

また、本年6月第2回定例会では同僚議員による保育園職員体制の質問に対して正職員は7名と少ない現状ではあるが、クラス担任は正職員でなくても会計年度任用職員、代替保育士、保育援助者によるサポート体制が充実しており、現在の鷹栖スタイルで何ら問題がないと町長は答弁されておりました。

現在、北野・鷹栖両保育園の0歳児から5歳児までの11 クラスのうち、正職員が担任のクラスは、北野保育園では4歳児、5歳児の2 クラス、鷹栖保育園では0歳児、3歳児、4歳児の合計5 クラスです。

他の6クラスは会計年度任用職員がクラス担任として配置され、業務を担っております。

現状、正職員の人数では全クラスを担うことは不可能であり、必然的に会計年度任用職員 がクラス担任をすることが鷹栖スタイルとなっております。

園児を預かる保育環境には、人的環境・物的環境・自然環境・社会環境などがありますが、 やはり一番大事な要件は人的環境ではないでしょうか。

全職員が精神的にもゆとりある環境で園児を預かることが、最良・最善の保育環境であると思いますが、正職員の配置についての町長のお考えをお伺います。

## **谷町長** それでは、青野議員の質問にお答えいたします。

まず、1点目の保育園児の受入体制でございます。

正職員配置の考えにつきましては、本年6月の第2回定例議会において川原議員の質問に対し、将来を見据えた計画的な職員採用に努める旨の答弁をいたしました。

本町の保育園の職員の配置状況につきましては、川原議員の質問の際にも説明しておりますし、青野議員も十分ご承知のことと存じますので、詳細な人数等の説明は省略させていただきますが、正職員が少ない状況の中、保育士有資格者の会計年度任用職員及び保育援助者の会計年度任用職員を多く配置し、保育サービスの充実に努めてきました。

保育サービスを向上させるためにも必要な職員数を配置し、保育士のモチベーションを維持しながら質を高めていくことは重要なことです。

今後も少子高齢化が予想される中、将来の町全体における保育の在り方を見据えた中で、 町職員全体の職員数と保育園職員の年齢層を考慮し、令和5年度以降計画的な正職員の採用 に努めていくことを改めて申し上げます。

#### 青野敏

町長から、職員の年齢構成のバランスと令和5年度から正職員を配置していただくという ことで前向きな御答弁をいただきました。

今の保育環境というのは託児として預かっている業務だけではなく、園児の保育教育に係るニーズはかなり多岐に及んでおります。

町長もご存じの通り 0 歳児から預かっている中でも、食事、トイレのトレーニング、片づけ、お昼寝をする等、子供たちの生活全体の保育教育ということになると思います。

その中において、町長は先ほど令和5年度から正職員を配置と答弁頂きましたが、また一方では、町全体の職員のバランスを見てということでありましたが、この保育環境の正職員配置というのは、町全体のバランスとはかけ離れた部分があると思います。

保育園は一時も目を離せない特殊な現場ですから、町長が認識として持っておられる町職 員全体のバランスで考えて良いのか、私はちょっと疑問ですが、町長のお考えを伺います。

**谷町長** 青野議員の御質問にお答えしますけれども、まず保育園の保育内容、質というものを十分配慮しながら職員の配置をしてございます。

先ほど申し上げました通り正職員は少ない状況ですが、他町の保育園に比べ資格を持った 有資格者の保育士、会計年度任用職員も多く採用してございます。

加えて、先ほど一人ひとりの園児に目配りをして事故のないように子供たちを見なくてはいけないものですから、時間給の会計年度任用職員、保育援助者を鷹栖保育園で 18 名、北野保育園で 14 名と非常に多くの会計年度任用職員の方に御協力をいただいて保育園を運営してございます。

それらのことも含めて前もお話をしましたけれども、鷹栖町内の保育園では先生方が正職員、資格を持った保育士の会計年度任用職員・保育援助者が、子供たちをしっかり見ていただいて元気に生活していただけるように、鷹栖スタイルを質という部分で担保をしているものだと自負をしてございます。

#### 青野敏

今、町長のお話のように会計年度任用職員、代替保育士、保育援助員の人数が少ないだとか多いだとかの話ではありません。

現場において各担当クラスの担任、副担任を配置しているところと配置されていないクラスがあります。

保育所の組織というのは、園長、担任・副担任がいて、その他に保育援助員がいて組織の中で子供を預かる体制としての組織であると私は考えていますが、町長の言われている答弁と私の認識とはちょっと組織として違うのですけれどもどうでしょうか。

**町長** 組織と体制と似たような言葉ですけれども、恐らく認識が少し違うだけだと思っております。

事実子供たちを預かっておりまして、保護者の方からはそういうような、質が低下していて 職員体制を何とかしてくれだとか、そういうような声というのはほとんど聞こえてございま せん。

それには本当に正職員が少なくて、ほかの会計年度任用職員さんが一生懸命頑張ってくれているという実情もございますけれども、そういう部分では組織もしっかりしているという ふうに思ってございます。

また、保育園だけではなくて、鷹栖町内には認定こども園もございます。

認定こども園については教育分野と保育分野しっかり分けての体制というふうになってございますので、鷹栖町内の保護者については、保育園と認定こども園をそれぞれ選択できるという部分もございますので申し添えたいと存じます。

#### 青野敏

この話をしたときには、前回もそうですけれどもちょっと町長との認識が違います。

町長がおっしゃっている様に預けている親御さんは何も支障がないでしょう。

職員の皆さんはしっかりと預かってくれているわけですから、それは誰も不満はないですが、職員の体制としてはクラス運営をすることができていないと考えています。

町長は先ほど、認定保育園の話をして保育教育と幼児教育の話が出ました。

私が先ほど話をしたように、今の保育園での教育というのは、預かるだけのことで皆さん が対応しているとは私は思っておりません。

親御さんと同じ程の時間、子供さんと一緒に1日を過ごし子供たちがどういう性格で行動をするのか、そこで担っている方々は様々な事を教育として教えているのが現状ではないでしょうか。

保育教育をしっかりと今は行っているという認識を持っていかないと、その辺の話のちょっとバランスが崩れるのではないかと思うのですが、その辺の感覚町長どうでしょうか。

**町長** 青野議員のおっしゃっていることは、僕には少し理解できないところもありますけれど も、しっかりとした運営ができていないとおっしゃっていますけれども、私はそうは思って ございません。

先ほども申し上げた通り、保育というのは子供たちを預かるだけの時間ではないということは私たちも承知してございます。

また、子育て環境も大きく変わってきてございます。

今、困り感のある子供ですとか、母子保健、お母様方、お父さんもそうですけれども、保護者の心の安定という部分でも、保育士や子育て世代包括支援センターというのを、0歳から 18 歳までの子供たちを対象にしっかり子育て世代の保護者、そして子供をサポートして支援していこうというような体制も取らせていただきました。

これは昨年の10月から正式に運営といいましょうか、組織を動かしているところでもございます。

そういうような専門の職員が保育園に入って保育士の負担を減らしながら、尚且つ、その資格を持った方のしっかりとした目で見ていただいて連携をとっているというようなことも、議員も重々承知とは思いますけれども、そのようにしながら、何とか保育士の皆さんも、1人だけに負担がかからないようにということで努力をしている、そういうような現状もございます。

## 青野敏

子供たちをしっかりと安全に預かって、親御さんたちに晩にお返しをする。

またその中で、担任・副担任、また職員の方々が連絡ノートに記載をして、そして、1日 あった出来事、行動ですとかいろんなその子供さん一人ひとりに記録をとって親御さんにお 返しをする。

親御さんはまた家庭であったことをノートに書いて先生方に読んでいただいて、お互いに 情報を共有しながら子供たちをしっかり育てるという環境だと思います。

そういう中においては前回もお話をしましたが、担任の先生たちは一時も子供たちから目を離すことなく、食事のときも昼寝の時間も、その昼寝の時間を使って暗い中で親御さんたちに連絡ノートに記載をしているのです。

休み時間ほとんどないでしょう、休憩時間もないでしょう。

事務所でゆっくり座ってお茶を飲む時間もないでしょう。

そういう体制が今現状として保育園の職員体制にあるということは町長もご存じだと思いますけれども、町長の見方はどうですか。

**町長** 青野議員のおっしゃるとおり、昼の休み時間を使いながらそういうような連絡ノートです とか、事務を行っている保育士もいるというのは承知してございます。

この現場は、学校とは違うのですけれども、学校とも似たようなところがありまして、実際、休み時間がなかなか、ここを取るというのが難しいというような現状もございます。

その部分で何とかその中でも環境を良くしながらという中でサポートできる職員を多く配置して運営をしているという形になります。

先ほど議員が、担任の先生は一時も目を離すことなくというようなお話もありましたけれども、お昼寝をしているときは、臨時の職員さんがうつ伏せになって事故が起こらないように、そういうように付いて見ていただいていますし、担任の保育士さんがずっと見ているわけではないので、サポートをしながら安全を確保しながら子供たちを見ている状況だということで御理解ください。

**青野敏** これ以上話をしてもなかなか前には進まないのでしょうけれども、まずは先ほど町長が 返答していただいた、令和5年度から職員の年齢構成が偏在していることを踏まえて、新規 採用も含めて職員体制をしっかりとお願いしたい。

もう一点、先程よりの副担任がついていないクラスがあるので、この体制をしっかりと担当のほうと話をして、必要性がないから付けないのか、人がいないから付けないのか、この辺についての体制はしっかりと取っていただきたいと思いますけれども、この辺のところだけ最後の答弁をお願いできますか。

#### 健康福祉課長

現状につきまして青野さんもご存じのとおり、副担任を配置できていないクラスが 5 クラス あるという状況でございます。

これらにつきましては、やはり職員の全体の人数とも関係もございますけれども、やはり副担任が必要なところには配置して、優先順位と言ったらちょっと変ですけれども、必要なところには配置して、代替保育士の方あるいは援助員さんのフォローで、何とかなるようなクラスはちょっと今、置けていないというような状況でございます。

#### 青野敏

どちらにしても、しっかりと子供を預かる必要な組織をつくり、体制をしっかりするのはこれは町長の仕事ですから、人が足りなければどんどん課長も町長にお願いをして採用していただく、そんなことも含めて、今後ともよろしくお願いをしたいと思います。

次の質問に移ります。

### 2点目として、将来を見据えた保育環境についてお伺いをさせていただきます。

将来における児童数の動向については、様々な観点からの推計値として捉えると、間違いなく減少傾向にあると考えられます。

次世代を担う子ども達への保育環境は、保育内容の質的充実などの環境整備を行うとともに、保育園の適正規模による効率的な運営が求められています。

地域住民と行政・保護者が協力して安心・安全な子育て環境として、現状での北野・鷹栖両保育園での保育環境を維持するのか、保育園の統廃合による総合的な保育環境の整備を行うのか、将来計画策定の時期に来ていると思いますが、お考えを伺います。

#### **町長** 続いて2点目の、将来を見据えた保育環境についてでございます。

将来の児童数は、青野議員のおっしゃられるとおり、減少傾向であることは間違いありません。

本町の保育園は、12月1日現在で鷹栖保育園は0歳児から5歳児までの6クラス63名、北野保育園は1歳児から5歳児までの5クラス51名が通園しています。

今後の町内の児童数の推移と現状の職員数を考えると、鷹栖・北野両保育園の運営について、見直しの時期であることは私も同感です。

子供を預かり安全に保育を行うため、職員の働きやすい職場環境づくりはもちろん、共働き世帯の増加や低年齢児からの保育ニーズが増加する中、0歳児保育や延長保育などのサービスも充実させ、子供を安心して産み育てることができる環境を確立するためには、効率的な保育園の運営に努めていかなければなりません。

そのため、来年度、仮称「子育て未来会議」を開催し、両保育園の今後の在り方について検討を進めてまいります。

**青野敏** 今の子供たちの今後の推計値、これは町長も私も同じ推計値を持っていると思いますから、若干横並びのところもありますけれども、やはり減少傾向だというふうに考えています。

それとあわせて、今の公共施設の長寿命化も含め在り方検討委員会の中でも、建築年数は かなり経っている建物もあります。

そういうことも含めながら、保育環境としてどういう環境で預かることが一番良いのか、 そういうことで未来会議ということで今町長からお話をいただきました。

これは大変お願いをしたい組織だと思うのですが、鷹栖と北野で別々に開いて、やはりその地域の方々、保護者の方々の意見を聞くという考え方でこれは進められるのでしょうか。

**町長** 現在のところ、町で一つそれをやって、別々にということは考えてございません。

#### 青野敏

まず大事なのが保護者の方々の意向であり、どういう環境で子供を預かっていただきたいのか。

町長がおっしゃっている、鷹栖町としては子供をしっかりと安全に預かり、親御さんたち

と同じに子供たちを育てるということでしょうね。

その中では統廃合ありきではないのですけれども、こういう環境をつくるとはやはり町から示して、保護者の方々からいろんな意見を聞き取り、また地域の方々また団体の方々から意見をいただくというのはこの未来会議だと私は思います。

ですから、来年度から進めるということですから、それぞれのこの委員の方々の人選というのは、難しいところはあるのでしょうけれども、しっかりと意見をくみ取れるような、そんな体制も必要でしょうし、未来会議としてどの年度ぐらいまでを目途に、鷹栖町としての計画年度は決めておられますか。

#### 町長

まずこの子育て未来会議は仮称なのですけれども、委員の数が約10名を想定してございます。

それとこの未来会議には学識経験者、尚且つ幼児教育に特化した学識を持っている方にアドバイザーとして入っていただこうということで、現在考えてございます。

これからのスケジュールについては、未来会議を開いて中身を確認しながらやっていかなくてはいけないところもございますので、それが両園になるのか統合になるのかによってスケジュール感も変わってくると思いますので、まずは保護者の方町民の方の御意見を伺いながらとなりますので、現在のところはいつまでにという想定感は持ってございません。

### 青野敏

鷹栖町では、子ども子育て支援事業計画を策定していますが、この中においてもいろんな 有識者や団体の方々が入り、子育て事業全般の話をしております。

是非、こういう方々にも御意見をいただき、未来会議として有意義な会議になるかと思う のですが、その辺の考えどうですか。

**町長** これは、もちろん子ども子育て会議とリンクするところがございます。

今の計画では、保育園数等も現状のままとなっていますので、統合ということになればも ちろんそれは変更しなくてはならないですし、今の状況を見ながらまた変えていかなくては ならないところは変えていくというようなこともしなくてはならないと思ってございますの で、その辺のところは青野議員がおっしゃるとおり、連携を図りながら行ってまいりたいと 思います。

## 青野敏

今回の計画というのは、ある意味拙速な予定を立てるわけにはいかないでしょうし、しか しながら先送りにすることもできない課題です。

そういうことですから先ほどおっしゃったように年次を決めながら、一つひとつ積み上げていって、最終ゴールに向けて皆さんの合意形成をとる、今後是非とも行政にはリーダーシップを発揮していただいて、子供たちを安全に預かる組織を保護者の方々のニーズをくみ取る、そういう体制をとっていただきたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。

町長には以上で質問を終わらせていただきます。

## 続いて、上西教育長に北野・鷹栖小学校の将来計画について質問致します。

少子高齢化の進行等を背景として、本町においても例外ではなく今後の児童数の減少による教育現場の課題が懸念されます。

少子化に対応して、子どもたちの育ちや学び、教育の質を最優先に考え、子ども達にとって望ましい教育環境の在り方について、早急に検討する事が求められております。

また、保護者や地域住民との合意形成や地域コミュニティの維持なども踏まえ、将来の教育環境の充実に向けた総合的な計画として、北野・鷹栖小学校の統廃合について、今から協議する必要があると思いますが、教育長のお考えを伺います。

#### 教育長 青野議員の御質問にお答えいたします。

現在、全国的に少子高齢化が進む中で、全国の子供の数は減少し続けています。

鷹栖町においても同様に、児童生徒数は年々減少しており、出生数から見た将来推計においても、今後も減少する見込みとなっています。

義務教育は、子供同士の学びや様々な学校生活活動を通して、新たな人間関係を築いていく中で社会性を育む大事な時期であり、学校全体として一定数の児童生徒を確保することは、良好な教育環境を構築する上で極めて重要な要素と言えます。

そのようなことから、今後さらなる減少が見込まれる状況にあり、将来においても良好な 教育環境を確保し続けるためには、適正な学校規模、適正配置を考えていかなければなりま せん。

また、小学校施設が昭和40年代から50年代に建設されたことから、施設の老朽化も大きな課題となっています。

このような状況の中で、子供たちの健やかな成長と豊かな人間性を育むための場として、より良い教育環境を整え、充実した学校教育の実現に資するため、教育行政を預かる教育委員会の責務として、将来を見通した学校の在り方を検討しなければならないと考えています。そのためには、保護者や地域住民、学校、そして行政が一体となって取り組む必要があると考え、仮称「鷹栖町立学校の在り方検討委員会」を来年度に立ち上げ、両小学校の将来を見据えた教育環境について調査、検討してまいります。

#### 青野敏

上西教育長から前向きなお話をいただきました。

お話のとおり、環境を整えるというのは、やはり教育行政の重要な案件ですから、そういう意味では、上西教育長がこの先の児童数を考えながら、また、公共施設の耐震含めて年数を考慮してという話をいただきました。

やはり学校の適正規模というのは、子供たちが集団生活の中でお互いに切磋琢磨する、こういうこともある意味、社会性を身につけるためにも大事な要件であります。

また、適正な配置ということでは、子供たちにとって望ましい環境として前にも教育長にも質問させていただきましたが、少人数学級の考え方として国・道・町の中では、40人、35人、30人という言い方の中で進んではおりますが、私はやはり25人学級が教育として教える規模としては最適な環境なのではないかなというふうに思っております。

ですから、今回の統廃合の話をしながらも、少人数学級の考え方があるわけですから、なかなかその辺をどういうふうな適正な形でとれるかというのは、これからの教育長を中心に教育分野の中で考えていただかなくてはならないと思います。

それぞれの保護者・地域の方々とよくよく話をしながらどういう進め方を教育長はされよ うとしていますか。 **教育長** 先ほど答弁の中で検討委員会を立ち上げていきたいというお話をさせていただきました。

基本的には来年度、教育委員会からこの検討委員会のほうに諮問をさせていただいて、御 意見をいただくといったものになっています。

その御意見をいただいた中で、教育委員会としてしっかりと、どうしたらいいのかという 部分を決めさせていただいて、基本的な方針といったものを決めさせていただきたいと思い ます。

その中で広く地域住民、保護者の御意見などもいただきながら、最終的な方針を決めてい きたいなと考えているところでございます。

#### 青野敏

その中においては恐らく多くの課題もあるでしょう、統廃合したときに一つの場所で預かるにしても、どこの場所が適正なのか。

また、それにはスクールバスの関係、送り迎えの関係もあるでしょうし、保護者の方々も やはり理解が必要だと思います。

そういうことも含め是非とも丁寧に保護者の方々に御意見を聞いていただいて、意見をま とめるプロセスとしては大事だと思います。

また、先ほど教育長がおっしゃったように、教育分野の方々の中でいろんな適正な規模を考えながら、そこに保護者の方々の意見も入れながら、しっかりとした形をとるという考え方なのでしょうが、これも教育長として言いづらい面もあるかと思うのですが、入学児童がかなり減少していくのが目に見えていますね。

どの年度ぐらいまで、ある程度の計画をつくりながら実行に移そうとしているのですか。

**教育長** 青野議員がおっしゃるとおり、推計人数については減少していくといった部分がありますけれども、あくまでもこれは生まれた部分での推計といったことになってございますので、これからまた転入だとかの部分も町としても力を入れさせていただいています。この数値についてはこのままいくというわけではないと思いますけれども、当面については、ここ 10 年の推計を見た中でこれからの学校教育といった部分を考えていきたいと思っています。

それで、私としては鷹栖小学校と北野小学校が合併というか統廃合ありきといった部分の考え方ではなくて、少人数については少人数のやはりメリットもありますし、やはり合併したときのメリットもあります。

こういったメリット、デメリットといった部分をしっかりと検討委員会の中でも御提示を させていただいて、御審議をしていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いした いと思います。

### 青野敏

ありがとうございました。

教育長から、メリット、デメリットの話もいただきました。

恐らく、そういう議論をしなければならない時期が来ているのでしょう。

是非そのことを踏まえた、鷹栖町の子供たちの教育分野の責任者として、お金がかかるときには町長にお願いをして、財政的にはしっかりと支援をしていただければいいわけですから、今後、鷹栖町の教育に向けての教育委員会、教育長の手腕を発揮をしていただきたいと思います。

よろしくお願いします。 以上で一般質問を終わります。